

草の根技術協力事業

ネパールの母子保健改善活動をととして
駒ヶ根市での国際協力をより身近なものに

事業概要

参加者：長野県駒ヶ根市・ネパール交流市民の会
・長野県立看護大学・助産院等医療機関

相手国：ネパールポカラ・レクナート市・母子友好病院（ネパール）

協力内容：

- ・日本から助産師・大学教員等を派遣し、母子友好病院やポカラの医療スタッフの技術や接遇の向上のための取組を行う。
- ・ネパールから研修員を受け入れ、妊産婦ケア・母子保健に関する知識・技術を移転し、普及に向けての人材育成を行う。
- ・町内会など地域組織と連携し、安全なお産にむけた地域保健活動を展開する

駒ヶ根市の背景・取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・



- －2001年、ポカラ市と友好都市協定
- －青年海外協力隊訓練所のある町として市民が主体となって国際協力へ参加
- －教育委員会によるネパールへの中学生海外派遣事業の継続的实施
- －駒ヶ根市上伊那地区における助産院での出生率は全国平均の8倍。（H24年）

ポカラ・レクナート市の課題と成果

課題 医療設備や看護師・助産師の医療実践力が低い

取り組み 駒ヶ根市の助産師・大学教員らを派遣し、現地医療関係者の技術向上をサポートする。参加型の活動手法を取り入れ、自ら問題解決をはかっていく方法が定着するよう支援する。

課題 現地の住民の産前産後ケアに関する知識が不足

取り組み 健診や施設分娩の重要性、産前産後の家族のサポートなどについて健康教育を実施。地域での展開や内容がよりの確になるよう駒ヶ根市の助産師・保健師・大学教員らのサポートを得る。

成果 産前産後ケアの質向上と安全な分娩の増加

駒ヶ根市への波及効果



国際協力に対する市民の参加、 国際協力がより身近なものに

- ・駒ヶ根市は二本松訓練所と共に、青年海外協力隊訓練所の所在地であり、国際協力の拠点である。
- ・協力・参加した助産師等母子保健関係者の国際協力への理解と関心が増す。
- ・事業の効果的な広報および各種市民参加イベントの実施により、参画する市民が増加。市長・市役所から小中学生まで幅広い世代や層が参加して国際協力を実践。